



SEIKEI FC
成蹊大学体育会蹴球部



2025年度新入生特設ページ





2025年度 成蹊大学体育会蹴球部主将 野川岳

はじめまして。

2025年度、成蹊大学体育会蹴球部主将を務める野川岳と申します。弊部は今年度、東京都1部リーグに所属しており、昨年度から引き続き「関東リーグ昇格」を目標に活動しております。2025年度こそは悲願の関東昇格を達成できるよう、選手一同、日々の練習に励んでおります。また、弊部は学生主体を掲げ活動をしており、サッカー一面はもちろんですが運営やスポンサー活動などピッチ外においても学年問わず役割があります。その役割を全うすることで、部活動を通して他では出来ない経験をこのチームでは得ることが出来ます。勿論、日々の活動において時には困難なこともあります。仲間と共に乗り越え、多くの時間を共有することで、自分にとってかけがえのない存在と経験になることは間違いありません。新入生が入部し切磋琢磨出来る仲間が増え、より良いチームに変わっていくことを期待しております。少しでも興味がある方は是非グラウンドまでお越し下さい。最後の学生生活を充実したものに出来るよう、共に戦いましょう。





① スタッフ紹介



監督 宮本佳宜

1986年生まれ。

静岡学園高校在学中、全国高校サッカー選手権大会出場、全日本ユース(U-18)選手権準優勝。

2004年成蹊大学経済学部入学。

成蹊大学体育会蹴球部所属、関東大会参入戦出場。

2008年成蹊大学卒業。

2010年～2024年3月静岡学園コーチ、全国高校サッカー選手権大会優勝。

2024年4月より成蹊大学体育会蹴球部コーチ。



① スタッフ紹介



コーチ 小松崎 悠

1998年生まれ。

石神井高校出身。

成蹊大学経済学部入学 / 成蹊大学体育会蹴球部所属、2020年主将。

2022年成蹊大学卒業。

2022年～2023年社会人チーム COEDO KAWAGOE FC所属。

2022年4月～成蹊大学体育会蹴球部コーチ。

2023年～GRAMADO FC TOKINAN U-15(女子)コーチ。2024年埼玉県女子 U-15
1部前期リーグ優勝、秋季関東大会 3位

日本サッカー協会公認 C級コーチライセンス(B級ライセンス取得予定)



②過去の成績

	東京都大学 サッカーリー グ	アミノバイタ ルカップ	東京都 トーナメント	インディペン デンスリーグ	大学対抗 Jr.リーグ
2020年度	東京都1部 7位	辞退	不参加	B3ブロック 3位	中止
2021年度	東京都1部 8位	本戦 1回戦敗退	本戦 1回戦敗退	2部Dブロック 2位	11位
2022年度	東京都1部 7位	都学連予選 代表決定戦 敗退	予選 2回戦敗退	1部Bブロック 10位	5位
2023年度	東京都1部 4位	本戦 1回戦敗退	本戦 1回戦敗退	2部Cブロック 9位	3位
2024年度	東京都1部 5位	本戦 1回戦敗退	現在進行中	2部Aブロック 5位	現在進行中

②練習場紹介



成蹊大学のサッカー場は吉祥寺にある成蹊大学のキャンパス内にあります。吉祥寺のキャンパス内に全ての学部、学科があるため、授業後グラウンドまでの移動に時間が掛からないのが利点です。朝練時には、人工芝を張り替えたばかりのけやきグラウンド(陸上グラウンド)にて練習を行っています。また、グラウンド近くの体育館にはトレーニングルームがあり、ここでは選手がウエイトトレーニングを行っています。



③ 1週間、年間スケジュールについて

週間スケジュール

月曜日 オフ

火曜日-金曜日 各カテゴリーに分かれて練習

土曜日-日曜日 前日練習もしくは試合

平日の練習時間は以下の通りです。

朝 7:00-

夕方 17:00- or 18:50-

各カテゴリーがこれらの時間に分かれて練習をしています。長期休暇期間中は活動時間に変更があります。

年間スケジュール

1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

- ・ 京レジカップ
- ・ 東京都サッカートーナメント
- ・ 東京・神奈川1部リーグ全日程終了
- ・ 東京・神奈川1部リーグ後期開幕
- ・ 甲南大学定期戦
- ・ 東京・神奈川1部リーグ前期終了
- ・ 学習院大学定期戦
- ・ 学内運動競技大会
- ・ 成蹊レガッタ(1年生)
- ・ 東京・神奈川1部リーグ開幕
- ・ アミノバイタルカップ
- ・ 成蹊フェスティバル
- ・ MOTHERS CUP
- ・ オフ





主将



部の代表としてチーム全体をまとめます。また、監督、コーチ、副将等と話し合いチームの方向性を決め目標に向け計画を立て実行します。

(新4年・野川岳・経済学部現代経済学科・ベガルタ仙台ユース出身)

主務



主将と各役職のサポートを行いながら、組織・競技の両面において運営に携わり、より円滑な運営と活動ができるように努めています。

(新4年・岩本晴太・文学部国際文化学科・札幌大谷高校出身)



副将



主将と密にコミュニケーションを取りながら、主に競技の面で部員たちの中心となり、主将を補佐する役目を担っています。

(新4年・柴崎大翔・経営学部総合経営学科・大森学園高校出身

・<左>

新3年・川本琉生・理学部理工学科コンピューター科学専攻・成蹊高校出身・<右>)

副務



蹴球部の運営の書類、大学サッカー場の管理などを行います。部活動と学校との連携を担う大切な役職です。

(新4年・西谷健吾・経済学部現代経済経営学科・県立川越南高校出身)



学生運営委員



公式戦において、選手・スタッフのエントリー、試合詳細の決定、試合運営などを行っています。他にも、各大学の関係者が集まる代表者会議に出席したり、年度末に行われるリーグ戦の表彰式に出席したりと、成蹊大学体育会蹴球部の代表として、東京都大学サッカー連盟に携わる機会が多いため、非常に重要な役割となります。

学生幹事(都学連)



東京都大学サッカー連盟所属の各大学から提出された資料をチェックし、メンバーの登録、試合日程や会場の決定、HPやSNSの運用など、公式戦全体の土台的役割を担う、各チームから有志で集まった組織です。毎週水曜日に集まって業務を行います。他にも東京カップやアミノバイタルカップの決勝戦運営、Jリーグや代表戦の運営に招集される機会があり、都学連を通して様々な経験ができます。





マネージャー



マネージャーの主な仕事は、部活動中の選手のサポートです。ボトルの用意、練習のビデオ撮影、怪我人の対応をしています。その他の仕事内容としては部の公式 SNSであるX(旧Twitter)やInstagramなどを用いて日々、部の魅力を発信しています。試合の速報や結果など随時更新しており、沢山の方に蹴球部を知ってもらえるように試合ブログも書いています。蹴球部にはチームドクターはいますが、学生トレーナーがいません。そのため怪我人の管理もマネージャーが行っています。怪我人のテーピングを巻くために毎年 1年生のマネージャーは練習してテストを行います。1番近くで選手を支えられるのがマネージャーの魅力です。

分析スタッフ・学生審判



分析スタッフ

試合後のフィードバック、対戦相手の分析を行い、資料、動画を作成しチームの勝利のために戦略を練ります。オフシーズンには、全日本大学サッカー連盟の活動をはじめとした外部活動に参加し、成長を目指します。

学生審判

公式戦や練習試合の主審、副審を務めます。また、普段の練習にも参加し、審判業務だけでなく様々なサポートも行います。



5 選手の一日スケジュール紹介



SEIKEI FC
成蹊大学体育会蹴球部

選手はどのような生活をしているのか？

今回は一人暮らしをしている工藤翔英選手(新4年・経済学部 現代経済学科・尚志高校出身)に聞いてみました！



7:30 起床

おはようございます。私の朝は洗濯から始まり、その後ゆっくり朝ごはんを食べます。

8:50～ 授業

僕は経済学部にも所属しています。部活の友達と協力しながら授業を受け、先輩にアドバイスをもらいながら単位取得目指して頑張っています。

17:00～ 練習

ここから練習に入ります。成蹊大学はグラウンドが同じ敷地内にあるので、移動の必要はありません。早くグラウンドについて誰よりも先にボールに触れるようにグラウンドへ向かいます。公式戦で結果を残せるように日々取り組んでいます。

20:00～ バイト

練習が終わったら急いでシャワーを浴びて、バイトに向かいます。僕は居酒屋でバイトしているので、夜ご飯は賄いを食べます。好きなものを沢山食べれるので、一人暮らしの僕からしたら助かっています。練習終わりのバイトは疲れますが頑張ります。

24:00～ 帰宅



SEIKEI FC



西脇 雄太 (新2年・経済学部 学科・北海高校出身)

Q.なぜ、大学でもサッカーを続けようと思ったのか？

私は大学でサッカーを続けるか迷っていましたが、この体育会蹴球部に入部を決めた理由は、サッカーを楽しみながらも本気で取り組むことができると考えたからです。「関東リーグ昇格」という目標に向かって全員が一つになって練習に打ち込んでいる蹴球部は自分にとって最高の環境でした。この環境をみて体育会蹴球部への入部を決めました。生徒が主体となってチーム運営をしていくので社会的ルールやマナーも学ぶことが出来て、今後にも必ず活かすことができると実感しています。ですが選手である以上は「関東リーグ昇格」に向けてプレーの部分で貢献することが今の目標です。



(廣瀬 あいな 2年・経営学部経営学科・南小平出身)

Q.なぜマネージャーになろうと思ったのか

同期の選手に誘われたことがきっかけでした。小学校から高校までサッカーに関わってきて、大学ではどうしようか迷っていたときに声を掛けてもらいました。サッカーに携わりながら、大学生活で有意義な経験が出来ればと思い、入部を決めました。

Q.入部にあって不安だったこと

部活に入りながらバイトをしたり休める日があるのか不安でした。周りを見たら、部活に打ち込みながら月に6,7万以上稼ぐ人がいたり、休日に遠出やライブに行く人がいたり、部員全員上手にやりくりして楽しんでいます。





新井雄稀(新2年・文学部英語英米文学科・県立前橋高校出身)

Q,なぜ分析スタッフになろうと思ったのか

自分は、野球をやっていましたが、幼い頃からサッカーを見るのがとても大好きでした。そのため大学では、そんな大好きなサッカーに関わりたいと考えたからです。

Q.入部にあって不安だったこと

高校まで硬式野球をやっていたため、サッカー未経験者が分析スタッフになってチームの役に立てるのかという不安がありました。一方で、サッカーの勉強はもちろん、日々の練習に参加し、選手、コーチと親しくなることで自分の意見を積極的に取り入れてもらえ、チームに貢献できている実感があります。


 岩崎拓都
 (新2年・法学部法律学科・静岡聖光学院高校出身)

Q,なぜ学生審判になろうと思ったのか

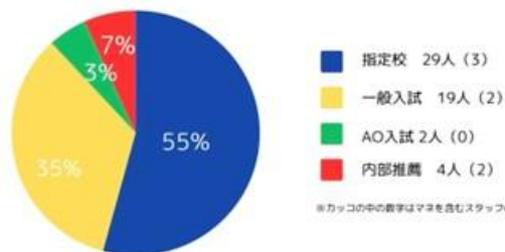
中学高校とサッカー部に入っていて、大学ではプレーする以外でサッカーに関わりたと思ったからです。

Q.入部にあって不安だったこと

大学の勉強に加え、部に所属するということで、どのくらい自分の時間を確保できるかが不安でした。実際に入部してみると、活動時間外に友達と出かけることができているので、充実した日々を過ごせています。

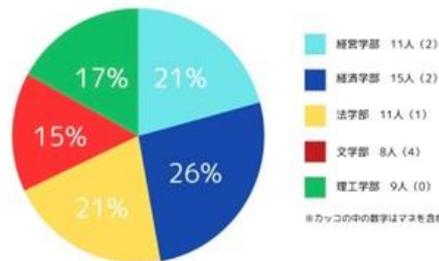


入試形態



※カッコの中の数字はマネを含むスタッフの数となります

所属学部



※カッコの中の数字はマネを含むスタッフの数となります

成蹊大学には基本的に 3種類の受験方法があります。

AO入試 ... 自分の将来やりたいことに向けて各学部への入学部を強く志望し、教科重視の入試ではあかることのできないさまざまな個人の能力を総合的に審査する入試方法です。帰国生、社会人、外国人などの特別受験制度があることも特徴です。

指定校推薦入試 ... 指定校推薦入学は、本学に入学を希望する生徒で、学業・人物ともに優秀で入学後の成果が大いに期待できる者を、高等学校長または中等教育学校長の推薦により入学を許可するものです。全学部ともに指定校制で実施されます。指定校の選定基準は学部によって異なりますが、過去数年間の入学者数、在学生の成績などを勘案して決定します。推薦入学基準も学部によって異なりますが、高校での成績および人物優秀な高校生に限られます。

一般入試 ... 一般選抜でも幅広い方式の入試が実施されます。その方式ごとに指定された教科の学力試験を行い合否が決まります。一部の組み合わせを除いてほぼ全ての方式の併願が可能なので、合格のチャンスが大きく広がります。



①一般入試



高橋 怜
(新2年・経営学部総合経営学科・拓殖大学第一高校出身)

私の高校は私立大学の付属でしたが、ほとんどの学生が外部の大学に行くといういわゆる進学校でした。私が大学について考え始めたのは高校2年生の冬頃で、きっかけは校内の進路説明会でした。それまでほとんど勉強していなかった私は推薦制度を使うよりも一般入試で受験することが現実的でした。部活も忙しく両立はかなり大変でした。選手権も10月半ば頃まであったのでそれまでの毎日は朝早く起き学校が開く時間に学校に到着し、勉強を開始していました。授業中は先生の話をしっかり聞き、授業に集中していました。その後部活動を行い、部活動後は塾が閉まるまで塾で勉強し、家に帰っても25時頃まで勉強していました。引退してからは毎日10時間ほど勉強していました。良い大学に行きたかったことや周りが勉強していることが良い刺激になり、約1年近く手を抜かずに取り組めたと思います。メリハリをつけて勉強すること、なりたい自分、明確な目標を持つことがモチベーション維持や自分のやる気を奮い立たせてくれるきっかけになると思います。

②AO推薦



山田拓人
(新2年・経済学部数理学科・東海大学付属高輪台高校出身)

私の高校は文武両道を徹底する高校でした。東海大学付属であったこともあり、内部生の9割がそのまま東海大学に進学しましたが、私は高校1年の頃から他大学に行きたいと考えていました。グラウンドが埼玉にあり、移動時間が長かったため、なかなか家での勉強の時間を取れませんでした。もともと一般受験するつもりはなかったため、授業をしっかりと聞き高い成績をとることを意識していました。AO入試は高校の時に何をしていたかも重要ですが、大事なことは大学に入ってから何をしたいか、なぜこの大学に入りたいかを面接官にはっきり伝えることです。ただ経済を学びたいなど曖昧な理由ではなく、現状の経済に対しての自分の考えを述べることで熱意を伝えられると思います。AO入試は、学力のみならず、個性や意欲、将来の目標を総合的に評価する入試方式であり、自分の強みや独自の経験を活かせる場です。ただし、準備には時間がかかり、大学側が求める適性や意欲を明確に示すことが重要ですので、事前の情報収集や入念な対策が鍵になります。



③ 指定校推薦



山路周平
(新2年・文学部国際文化学科・札幌大谷高校出身)

私の高校時代は、サッカー漬けの毎日でした。その為、高校1年生の頃から指定校推薦を考えていました。一方で、部活動が忙しく、一般生徒よりも勉強する時間を確保することが難しかったです。その為、他の生徒と同じことをしていたら差をつけられないと考え、バスの移動中や授業の合間を利用するなど、勉強時間を確保出来るように行動していました。指定校推薦は、学内推薦に通ると、志望理由書と面接の試験があります。志望理由書は、自分がなぜ成蹊大学に入りたいのかを突き詰めることが大切です。面接では、主に学業について掘り下げられます。自分の得意科目や苦手科目についてです。何が得意、又は苦手でどのように苦手な分野を改善していくかを問われる質問がありました。対策として、質問を予想し答えを考えておくことは大切ですが、どんな質問にも答えられるよう自己分析を行い、自分を理解することが最も大切になります。



成蹊大学体育会蹴球部をより多くの方に知っていただくために Instagram・X・YouTubeにて部活動の様子を日々更新しています。是非、ご覧ください。

Instagram <https://www.instagram.com/seikeifc/>

X <https://x.com/seikeifc>

Youtube https://www.youtube.com/channel/UCZwfW4lt04_BXrYYXLrDYlg

成蹊大学体育会蹴球部では選手、マネージャーだけでなく、審判、コーチ、分析、映像編集など様々な分野で活躍する学生スタッフを募集しています！自分の持っている知識や好きな事を活かして蹴球部、そして大学サッカーを盛り上げ、4年間しかない大学生活を有意義なものにしませんか？

経験者も、未経験者も一緒に充実した大学生活を送りましょう！

http://seikei-fc.com/inquiry_detail/